

みはらっせ

お宝めぐり その1

あでがけマップ

秋といえど！読書の秋、行楽の秋、芸術の秋…と、いろいろありますが今回はみはらっせの”お宝”ともいえるキチョーな文化財を、ほんの少しご紹介。お宝みて、三原と世羅の歴史にひたつてみよう

※文化財とは…長い歴史のなかで現在まで守り伝えられてきた貴重な財産のこと。お寺や建物、彫刻（仏像）などを指しています。



佛通寺（ぶつとうじ）マップP9-B
境内にある「含暉院地藏堂（国重文）」は室町時代に建てられたといわれる。寺周辺は紅葉が美しい。



下草井のツガ
（しもくさいのつが）マップP10-B
ツガはマツ科の常緑針葉樹で代表的な樹種だが、樹高約22mと県内有数の巨樹として県の天然記念物として指定された。

凡例

- 観光花園 観光農園
- 入浴施設 地元特産市
- 2 59 国道 県道
- ★ 紅葉
- 名所

月光菩薩立像
（がっこうぼさつりつぞう）マップP10-C
三原市小坂町の善根寺に収蔵されている木造立像のひとつ。日光菩薩立像と対で県重文に指定されている。



宇津戸領家八幡神社
（うづとりょうけはちまんじんじや）マップP9-A
ツクバネカシやウラジロガシなどの巨木が群生している珍しい社叢（県指定）。神社で行われる夏の雨乞い神祇は町の無形文化財でもある。



山中福田のツバキ
（やまなかふくだのつばき）マップP10-A
県内北部に自生するツバキとしては最大級。推定樹齢は約700～800年といわれている（県重文）。



経塚石塔
（きょうづかせきとう）マップP10-A
享禄2年と年号が残っている町重文の石塔。富豪が後世に経文を残すために作ったという説も。



A

B

C

A

B

C